

2015年情報工学部第4問


 数理  
石井K

4 1から9までの数字が1つずつ書かれた9個の玉があり、これらのうち、1, 2, 3が書かれた玉をそれぞれ玉1, 玉2, 玉3と呼ぶ。以下の問いに答えよ。

- (1) 9個の玉から3個を選んで1つの箱に入れる。この入れ方は何通りあるか。  
 (2) (1)の入れ方のうち、箱に、玉1と玉2がいっしょに含まれず、玉1と玉3もいっしょに含まれないものは何通りあるか。  
 (3) 9個の玉を区別できない3つの箱に分けて入れる。ただし、各箱にはそれぞれ3個ずつの玉を入れるものとする。この入れ方は何通りあるか。  
 (4) (3)の入れ方のうち、どの箱にも、玉1と玉2がいっしょに含まれず、玉1と玉3もいっしょに含まれないものは何通りあるか。

$$(1) 9C_3 = \underline{84 \text{ 通り}} //$$

$$(2) \text{玉1と玉2がいっしょに含まれるのは、残りの1個の選び方を考えると、} 7C_1 = 7 \text{ 通り}$$

同様に、玉1と玉3がいっしょに含まれるのは、7通り、

玉1と玉2と玉3がすべて含まれるのは1通り

$$\therefore (1) \text{より、} 84 - (7 + 7 - 1) = \underline{71 \text{ 通り}} //$$

$$(3) \frac{9C_3 \times 6C_3}{3!} = \underline{280 \text{ 通り}} //$$

$$(4) \text{玉1と玉2がいっしょに含まれるのは、残りの1個の選び方が} 7 \text{ 通り}$$

残った6個の玉を3個ずつに分ける分け方が、 $\frac{6C_3}{2!} = 10 \text{ 通り}$

$$\therefore 7 \times 10 = 70 \text{ 通り}$$

同様に、玉1と玉3がいっしょに含まれるのも70通り、

玉1と玉2と玉3がすべて含まれるのは、 $\frac{6C_3}{2!} = 10 \text{ 通り}$

$\therefore (3)$ より、

$$280 - (70 + 70 - 10) = \underline{150 \text{ 通り}} //$$